

研究成果報告書 (掲載期間 2019.11.1-2020.10.31)

審査学術論文

- (1) 山内昇 : Speaking of 構文の成立過程に関する考察 : 構文化の観点から, JELS, 37, 2020, pp.145-151.
- (2) 山内昇・新實葉子 : 話題転換マーカに関する日英語対照研究 : speaking of which と「そういえば」の対応関係を例に, 日本語用論学会第 22 回大会発表論文集, 15, 2020, pp.153-160.

学会発表

- (1) 山内昇 : Speaking of 構文の成立過程に関する考察 : 構文化の観点から, 日本英語学会, 日本英語学会第 37 回大会, 2019 年 11 月, 大阪.
- (2) 山内昇・新實葉子 : 話題転換マーカに関する日英対照研究 : speaking of which と「そういえば」の対応関係を例に, 日本語用論学会, 日本語用論学会第 22 回大会, 2019 年 11 月, 京都.